

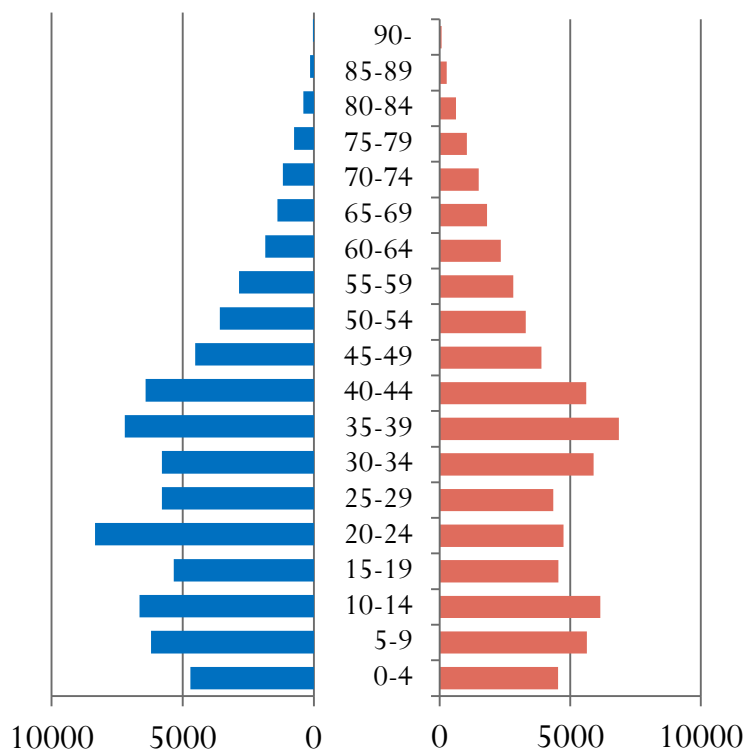
公共施設フォーラム2016

秦野市と公共施設の現在・未来

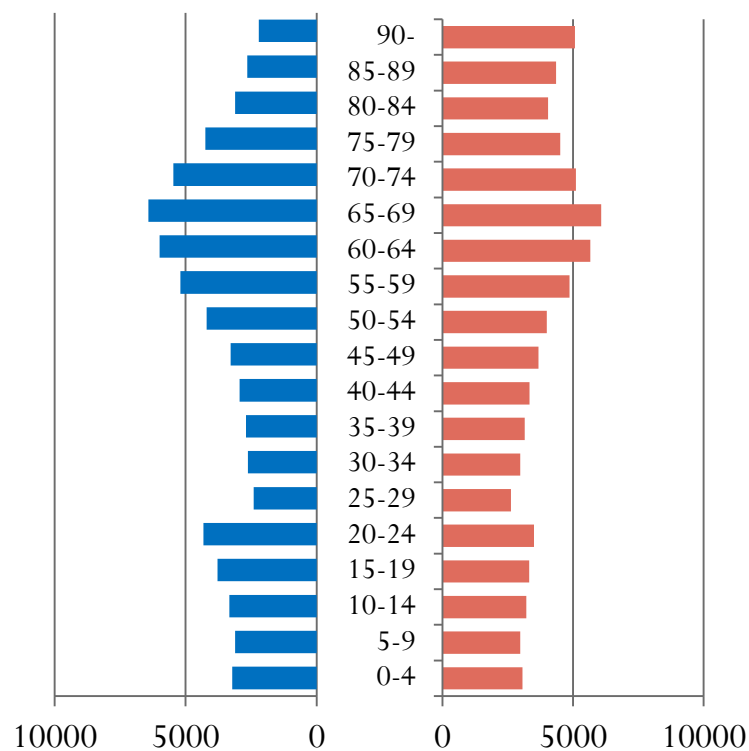
秦野市

まず、秦野市の人口ピラミッドを見てみましょう

昭和60年(1985年)



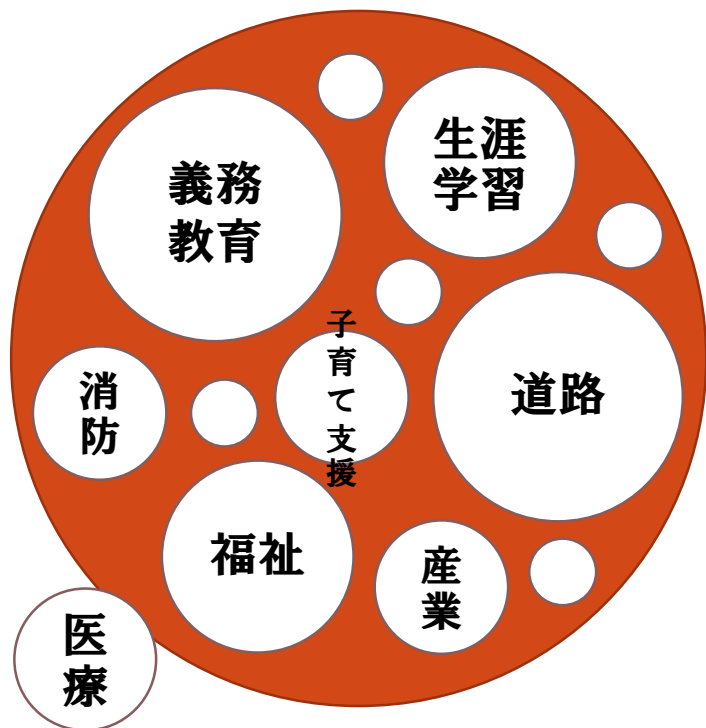
平成52年(2040年)



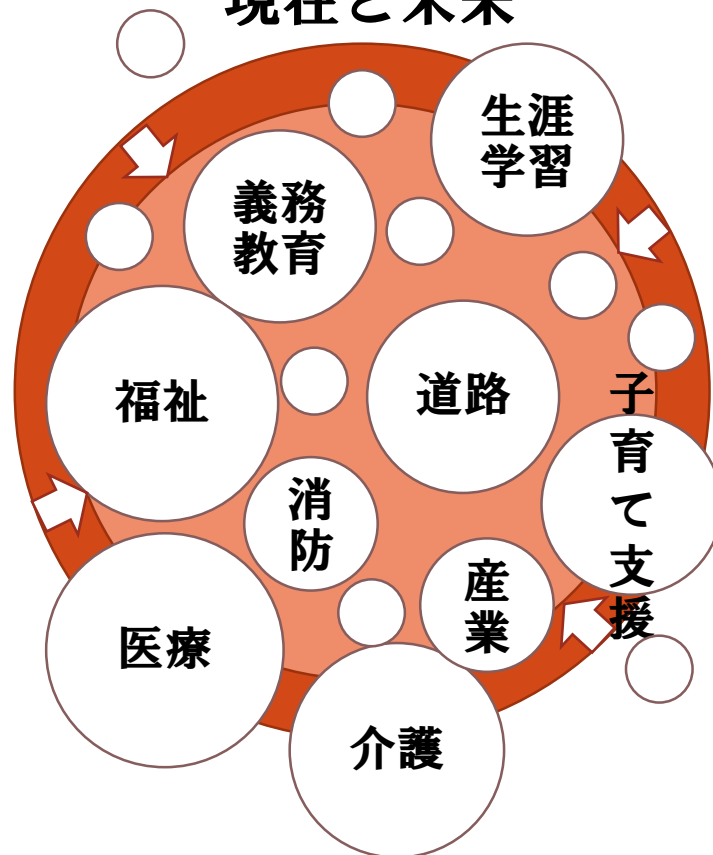
- 秦野市の人口増加が一段落した昭和60年、秦野市の人口構造は、下側（若年者層）がどっしりとした壺型でした。
- 今から25年後の秦野市は、同じ壺型でも上側（高齢者層）が膨らんだ壺になる見込みです。

税金の役割が大きく変わっています

過去

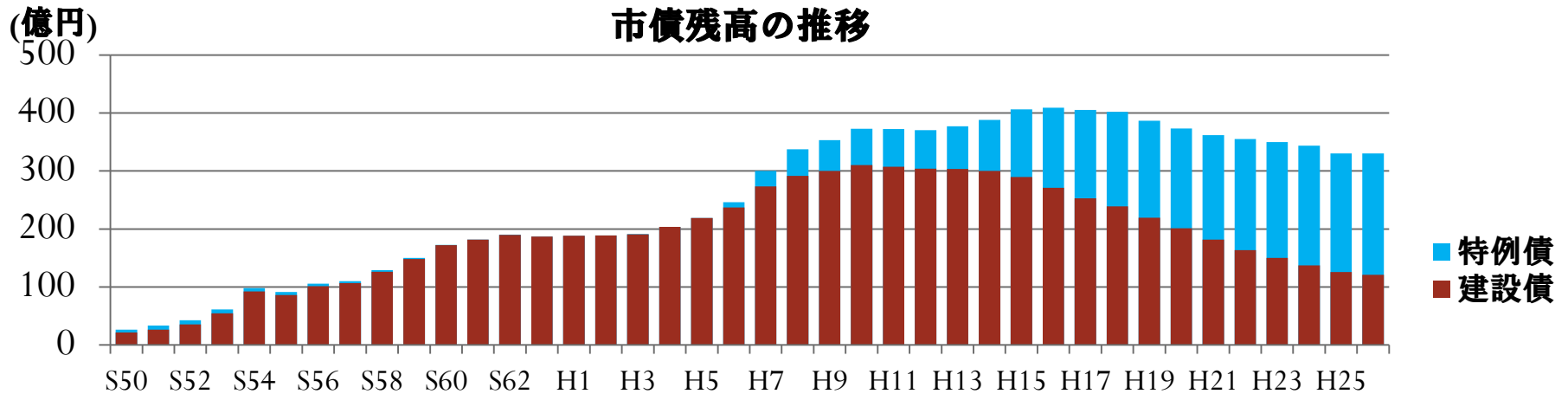


現在と未来



- 医療や介護に関するお金（特別会計への繰出金）は、今では税に大きく依存し、今後もこの傾向は拡大していきます。また、子育て支援なども含めた福祉全体に必要なお金（扶助費）も増加の一途をたどっています。
- 税の役割が拡大しても、人口減少（特に生産年齢人口の減少）により税収が増える見込みは立ちません。税の使い方を見直す必要があります。

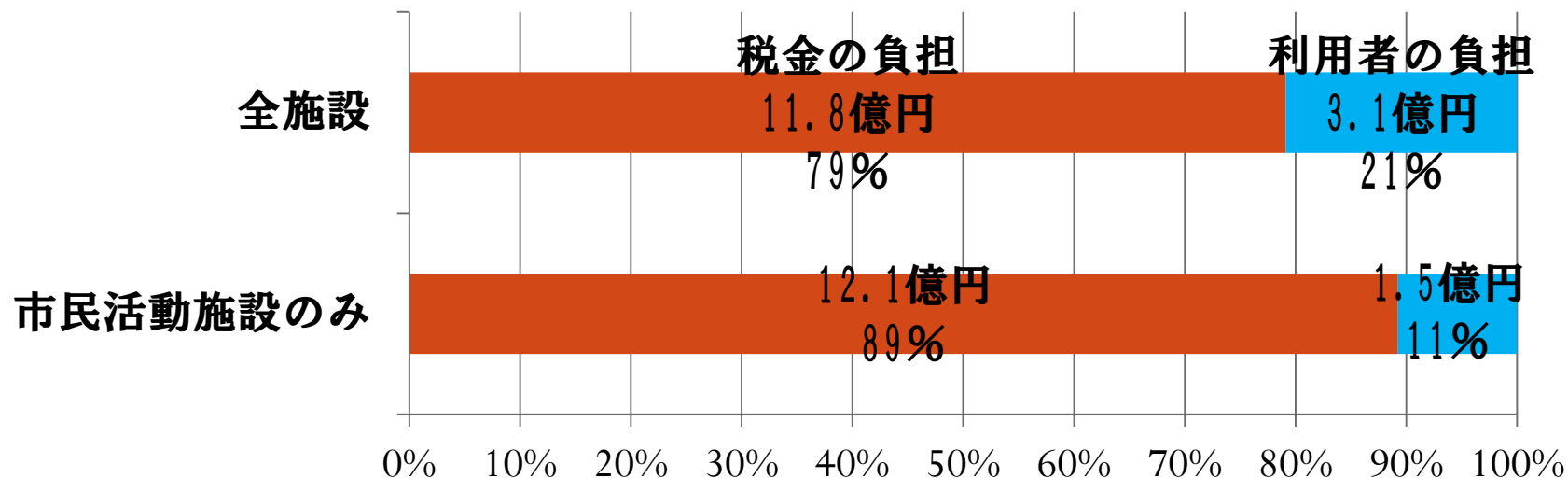
すでに市民の皆さんへのサービスの一部は、「将来の市民」の負担で行っています。



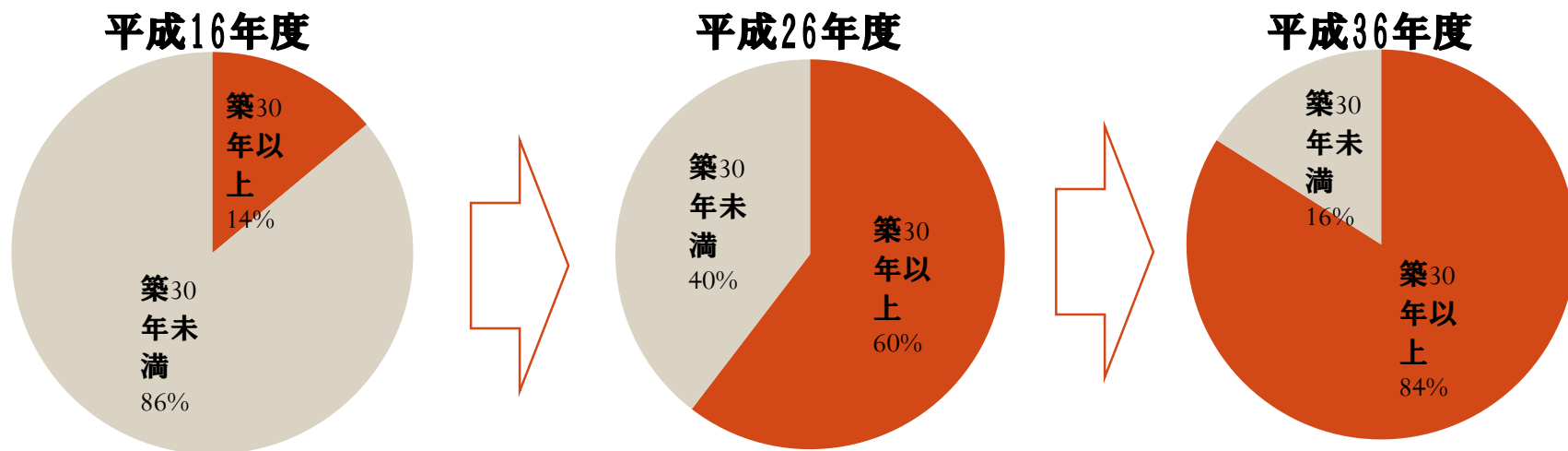
- 道路や学校などの公共施設は、長く使うので、「将来の市民」にも恩恵があります。そのため、費用の一部を「将来の市民」にも負担していただく仕組みが建設債です。
- 現在、本市の借金の3分の2近くは、現在の市民に対するサービスに使ったお金で、地方交付税の不足を補うために法律で認められた仕組み（特例債＝臨時財政対策債）ですが、これも「将来の市民」の負担となります。
- 平成26年度は、この借金がないと今のサービスを維持するために最低限必要となるお金を賄うことができませんでした（一般財源に占める義務的経費の割合＝経常収支比率は100%を超え、平成21・22・25年度に続き4回目）。

市民の誰もが使える公共施設は、 どれくらいあるの？

- 図書館、文化会館、体育館、公民館など、65の施設があります。
- これらを維持するために1年間に必要となる経費は、約14.9億円、このうち使用料収入は約3.1億円(経費の約21%)です。(H25決算)
- この中から、経費のほとんどを利用者の負担で賄っている特殊な施設(弘法の里湯、駐車場、駐輪場)を除き、市民の皆さんの活動などに利用できる施設に限ると、1年間に必要となる経費は、約13.5億円、このうち使用料収入は約1.5億円(経費の約11%)です。(H25決算)



財政状況が厳しい中、一斉に老朽化が進行します



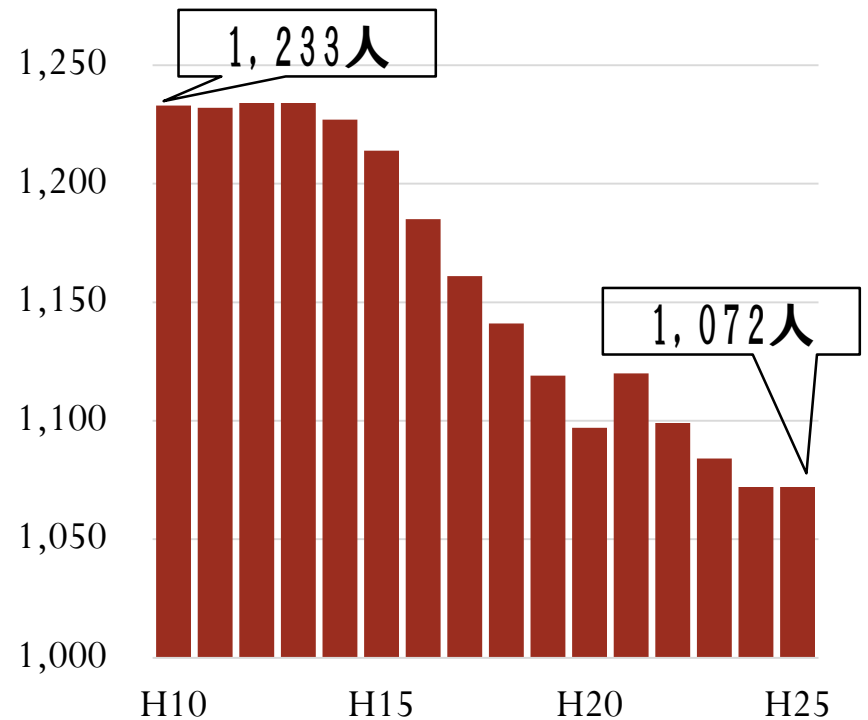
- 人口急増期に集中して建ててきた公共施設は、今後10年で一斉に老朽化が進行します。
- 昭和40年代、50年代に急増した人と建物は、同時に年を取り、同時にお金がたくさん必要になりますが、かけるべきときにお金をかけなければ、安心な暮らしと、安全な公共施設を維持することができなくなってしまいます。

市では、これまでにさまざまな 取組みをしてきました

行財政改革の取組み

職員給与の改革など	22.7億円
業務委託の推進など	8.4億円
財産の有効活用など	12億円
⋮	
⋮	
平成16年度～20年度 平成23年度～25年度 の効果額合計	63.2億円

職員数の削減



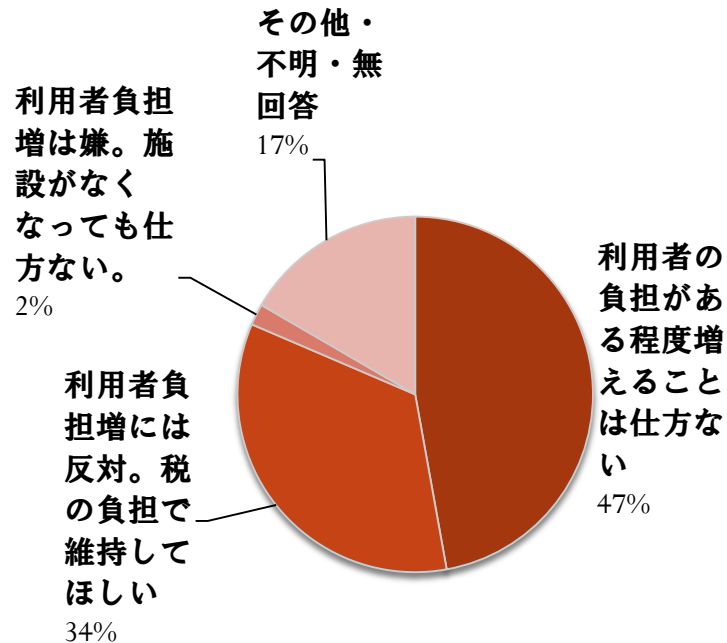
使用料を見直したいと考えています

- 市民アンケートによれば、公共施設を定期的（月に1回以上）に利用する市民は3割程度です。
- 人口減少と高齢化が進む中で、公共施設を使わない7割の市民も含めた「大勢の市民」の「安全で安心な暮らし」を守っていくためには、税の使われる先は、公共施設？医療？介護？子育て支援？それとも…？
- では、公共施設はなくなってしまってもいいのか？
- 公共施設の大事な機能を残し、将来の市民にも引き継いでいくためには、一層の歳出の削減を進めることはもちろんですが、現在の利用者にも負担を増やしていただく必要があると考えています。
- そうしなければ、その負担は「将来の市民」の世代に…

みんなは、どう思っているの？

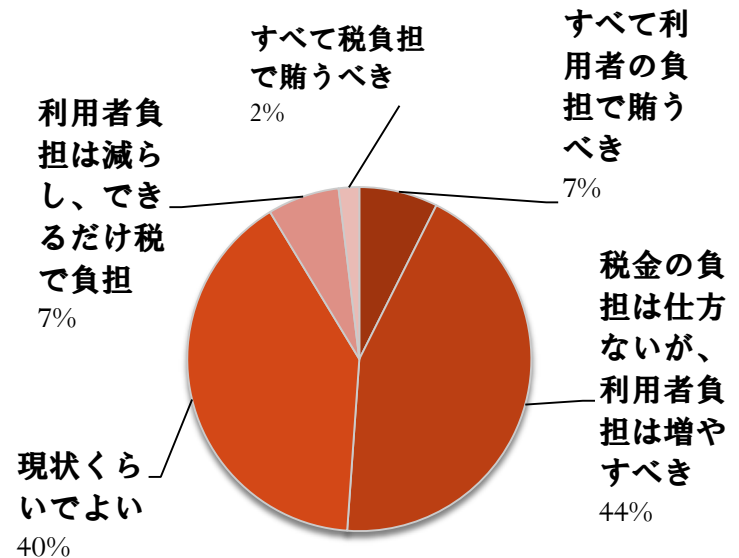
H21：施設利用者アンケート (776人)

「今日御利用いただいた施設を維持していくために、今まで無料であった施設が有料となったり、大規模な修繕や建替えのための費用が使用料に上乗せされるとしたら、あなた（あなたの団体）は、どのように思われますか。」



H24：市民アンケート (311人)

「不特定の市民が利用する公共施設の中には、利用者から使用料をいただいている施設もありますが、全体の管理運営費に対する利用者の負担割合は15%程度であり、残りの85%は税金で賄われています。このことに対して、あなたの考えに最も近いものを選んでください。」



見直し方針の内容は？

- **使用料は、稼働率50%で公共施設にかかるフルコスト（光熱水費や委託料に加え人件費や建物の減価償却費を含む）の3分の1負担を基準とします。**
- **ただし、見直しの幅は、現在の2.5倍までを限度とします。**
- **現在無料の施設も、ボランティア活動等に使用する場
合を除き、有料化を進めます。**

本町公民館を例とした試算

	現状（平成25年度）
使用料収入	325万円
年間の維持費に対する割合	14.7%
フルコストに対する割合	8.7%

部屋	1時間あたりのコスト	基準となる3分の1の額	見直しの上限の額
大会議室（現在600円）	7,315円	2,400円	1,500円
中会議室（現在200円）	1,399円	400円	400円
小会議室（現在200円）	645円	200円	200円
和室（現在200円）	2,331円	800円	500円
調理室（現在200円）	1,339円	400円	400円
創作活動室（現在200円）	1,463円	500円	500円
音楽室（現在200円）	2,256円	800円	500円

※方針に基づく試算であって、見直し後の額として決まっているものではありません。

2.5倍になるって聞いたけど...

- 「2.5倍」は上限です。全部の施設が2.5倍になるというわけではありません。また、見直し後の金額との差が大きい場合（差額1,000円以上）は、2.1倍まで上限を引き下げます。
- プールやトレーニングルーム以外は、団体で利用しており、それぞれの団体の人数や利用状況に置き換えてみると、負担額が分かりやすくなります。

【例】 1団体15人で公民館の大会議室を2時間利用

600円→1,000円と見直すと仮定した場合

- ・ 現在 一人80円 (2時間×600円÷15人)
- ・ 見直し後 一人133円 (2時間×1,000円÷15人)

こんなことも考えています。

- 子どもを含む団体の使用料は2分の1にする。
- 子どもが共用利用するプールなどは無料にする。
- 使用料は、30分単位で払えるようにする。
- 貸し出しが可能であるのに今まで施設のイベントなどだけで使っていた部屋（図書館の視聴覚室、くずはの家の研修室など）も利用できるようにする。
- その他、「こんなふうにしてほしい」という御意見はありませんか？

使用料の見直しは、秦野市の行財政運営の重要課題の一つとして、全庁的に取り組んでいます。

問い合わせ先

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

政策部公共施設再配置推進課 TEL0463-82-5122（直通）

Mail:koukyousisetu@city.hadano.kanagawa.jp